

広報あつぎ1450号(7月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q あなたの年代を選択してください。

10代	0人
20代	1人
30代	5人
40代	16人
50代	19人
60代	12人
70代以上	20人
	73人

広報あつぎ1450号(7月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 紙面で紹介した行政情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面 田んぼもぼくらの教室

- 1 田んぼの写真が魅力的でした。
- 2 田んぼは、日本人の宝だと思います。
- 3 親しい友人が農家をしているので興味を持ちました。
- 4 こどもたちの表情がとても良く、すてきな授業だと思いました。
- 5 実際に体験することで、米のことを良く知ることができると思います。
- 6 けがのないように、安全に留意して田植え体験をしてほしいと思います。
- 7 こどもたちに米が育つ過程を知ってもらい、食べ物の大切さを理解してほしいです。
- 8 田んぼで実際に田植えを体験できることは、こどもたちにとって幸せなことだと思います。
- 9 学校によって行事が違うことを知りました。田植えはあまり経験できないので、貴重だと思います。
- 10 表紙のこどもたちの生き生きとした笑顔が印象的でした。自然と触れ合うことで、楽しく学んでほしいと思います。
- 11 自然が豊かな厚木の田んぼで、泥まみれになりながら田植えをする経験は、一生忘れないものになると思います。
- 12 田んぼに触れる機会があることは、田んぼが自然環境にもたらす影響を知ることのできる良い機会だと思いました。
- 13 米への関心が高まっている時期の記事なので、将来農家を目指すこどもがこの中から出てほしいと思います。
- 14 こどもの時に体験学習で得るものは大きいと思います。市内の小・中学校でより体験できる機会が増えてほしいと思いました。
- 15 こどもたちが厚木を終の棲家になりたいと思えるかどうかは、大人たちにかかっているということを自覚したいと思いました。
- 16 こどもの頃に田植えを体験した人は、人間として大事なものを吸収することが出来ると思うので、とても良い取組だと思いました。
- 17 令和の米騒動と呼ばれる事態に驚いています。私自身、こどもの頃の田んぼでの経験は大切にしているので、授業で田植えを体験したこどもたちにも大切にしてほしいと思いました。
- 18 私のこどもも田植え体験をしました。学年に応じて出来る作業の一部を手伝っていました。楽しさだけでなく、難しいことなど、色々な経験をすることができ、収穫後の試食会では忘れられない味を体験できたようです。また、地域の方の協力あってこそ体験ができるという感謝の心も養えたのではないかと感じました。
- 19 こどもの希望で、田植えに参加しました。調べてみると多くの場所で田植えのイベントが行われていることを知りました。こどもは、生き物の観察に惹かれたようでした。実際、虫とり網を持って参加している人もいて、生き物に興味のある子が多いことに驚きました。このような機会がないと田んぼには入れないので参加して良かったです。

2面 家の将来を考えよう

- 1 近所の空き家の樹木の成長が気になっています。

- 2 自分事として考える必要があるので参考になりました。
- 3 自分の親も年を取り、このような話題が他人事でなく、身近なこととして捉えるようになってきました。
- 4 空き家が残る要因の一つとして、更地にすると固定資産税の税率が上がる可能性があるのではないかと思います。政策的にも検討が必要ではないかと思ひます。
- 5 近所に一軒家の空き家が増えています。更地になっているところも増えています、老朽化したままの一軒家もあり、対策が急がれているので、時期に合った記事でした。
- 6 空き家を多く見掛けるため、防犯や防災の観点から、何か対策をしなければならないと感じています。行政任せではなく、地元住民や、自治会でも、真剣に考えていくことが大切だと思うので、より周知してほしいです。
- 7 最近、古い空き家が目立ち、気になっています。市の助成をきっかけに、使う予定のない古い空き家の解体や適切な管理が進むことを望んでいます。空き家は治安の悪化にもつながるので重要な政策だと思います。

2面 空き家対策を

- 1 今まで空き家について考えたことがなかったので、勉強になりました。
- 2 高齢になってきたので、自分たちの家について考える良い機会だと思ひました。
- 3 住まいのエンディングノートの実物を持っていたので、それを見ながら記事を読みました。とても良い取組だと感心しました。早速記入できるところから始めようと思ひます。
- 4 本市の人口も減少している中、市の中心部には高層住宅が続々と建設され、郊外では空き家が増えていくように感じます。空き家のまま放置されると、防犯・防災上からも問題があるので、行政としても問題解決のために、県を通じて国へ働き掛け、空き家対策に本腰を入れてほしいです。

2面 老朽空き家解体工事補助金

- 1 空き家の解体工事に補助金が出ることは知りませんでした。
- 2 近所にも空き家だと思われる建物を見掛けることがあるので選びました。
- 3 実家が空き家になる可能性がある、他人事ではないと思ひました。厚木市は解体費用の補助があるので助かります。
- 4 高齢化が進み空き家が増えると、防犯や害獣、雑草などで困ることがあるため、対策してもらえるのはとても有り難いです。

3面 起業スクールを開講

- 1 今、一番興味があります。

3面 受講生募集

- 1 地に足ついた取組で感心しました。すばらしい取組だと思うので長く続けてほしいです。

3面 水の事故に注意

- 1 今年も暑いので、川でのこどもの事故がないことを祈っています。
- 2 ニュースの映像で見る川の事故は、意外と浅い場所のように見えることがあり、浅瀬でもおぼれる危険性があることに驚きます。川の危険な箇所が分かるマップなどがあるとより良いと思ひます。

4・5面 特集 歩み出す背中に手を

- 1 長年、親戚が保護司を務めていました。更生のために力を貸す大切な存在だと思ひました。

- 2 保護司にも、協力雇用主にも、頭が下がる思いです。今回の特集は、本当に良かったです。
- 3 社会に戻るための支援をしてくれる心強い人がいるということを多くの人に知ってほしいと思いました。
- 4 保護司の活動や協力雇用主制度について、一步踏み込んだ取材をしていて参考になりました。保護司などの活動は、犯罪を防止することにつながる重要な役割を担っていると思いました。

6面 厚木愛通信

- 1 モルックに興味はありますが、個人競技でないためにやる機会がありません。

6面 みんなで祝おう！70周年

- 1 厚木市が無事に70周年を迎えられたことをうれしく思います。
- 2 厚木市の周年イベントは市民にとっても重要だと感じているためです。

8面 第79回あつぎ鮎まつり

- 1 毎年の恒例行事のためです。
- 2 厚木を代表する行事のためです。
- 3 大花火大会を楽しみにしています。
- 4 鮎まつりの花火を楽しみにしています。
- 5 鮎まつりに関心を持っているためです。
- 6 毎年家の近くから見る花火を楽しみにしています。
- 7 県央地区最大の夏まつりなので楽しみにしています。
- 8 鮎まつりの時期が来たことに月日の流れを感じました。
- 9 今年の鮎まつりも無事に開催されることを願っています。
- 10 鮎まつりが楽しみです。鮎のつかみどりをやってみたいです。
- 11 毎年楽しみにしているので、今年の開催を待ち遠しく思っています。
- 12 鮎まつり大花火大会、今年も孫と一緒に見るのを楽しみにしています。
- 13 夏の鮎まつりは最後になりますが、来年以降も変わらない開催を期待しています。
- 14 鮎まつりの様々なイベントが載っていたので、当日の予定を立てられました。
- 15 非常に暑くなっているので、鮎まつりの時期をずらす試みは良いと思います。
- 16 今年で8月開催は最後になるので、夏の思い出となる花火大会が感慨深いです。
- 17 毎年、鮎まつりをとても楽しみにしています。こどもの頃から、夏の風物詩は鮎まつりだったので、情報を待っていました。
- 18 鮎まつりを楽しみにしているので、どのようなイベントがあるのか、情報を知ることができて興味を持ちました。
- 19 鮎まつりの大花火大会を毎年楽しみにしています。夏の開催は今年で最後となるそうですが、熱中症に気をつけて楽しみたいと思います。
- 20 厚木に住んでから20年が経ちましたが、いつも行くことができませんでした。今年は、有料観覧席のチケットを購入し、花火をゆっくり鑑賞したいと思います。どの席が最適なのか分からないので、近隣の方にお聞きして購入します。楽しみにしています。

興味を持てる記事がなかった

広報あつぎ1450号(7月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 今回の「広報あつぎ」について、意見・感想、その他、取り上げてほしい内容があればお聴せください。

- 1 美容について。
- 2 次号も期待しています。
- 3 雑学を載せてほしいです。
- 4 次号を楽しみにしています。
- 5 野鳥について知りたいです。
- 6 子育て支援事業の取組について。
- 7 イベント情報などを載せてほしいです。
- 8 いろいろな助成金について知りたいです。
- 9 ソフトボールなどのスポーツイベントについて。
- 10 朝日や夕日がきれいに見える場所を知りたいです。
- 11 高齢者とこどもが交流している記事を載せてほしいです。
- 12 新庁舎の完成までの進捗状況を毎号掲載してほしいです。
- 13 好きなことに夢中で、博士のように知識が豊富なこどもたちの特集をしたら面白いと思います。
- 14 物価高騰により、家計が厳しいので、大学に進学したこどもに対して手当があれば助かります。
- 15 今年は梅雨明けが早く、昨年以上に熱中症など注意すべきことが多いので取り上げてほしいです。
- 16 厚木市で多い病気やその対策を載せてほしいです。健康な人が多い厚木市を目指してほしいです。
- 17 他市の「すぐやる課」などを参考に、市民が何を求めているのかを把握し、対応してもらいたいです。
- 18 夏休みに楽しめそうなイベントがあり、うれしいです。これからも、たくさんのイベントを掲載してください。
- 19 こどもたちが夏休みを計画的に過ごせるように、夏休みの宿題に取り組めるような講座をしてほしいです。
- 20 アミューあつぎ5Fのアートギャラリーでの作品展等が少なく、さみしいので、作品が増えるように周知してほしいです。
- 21 今月号は、こどもと田んぼの触れ合いや空き家対策、保護司・協力雇用主のことなど、興味深い内容が多くありました。
- 22 鮎まつりや、記念映画の観客エキストラ募集など、魅力的な情報が多く、広報あつぎでなければ知ることができなかったことを知れて良かったです。
- 23 複合施設の建設場所での、フリーウォールにこどもたちが喜んで参加していたので、工事が行われている場所での恒例になってほしいと思いました。
- 24 暑い日が多いので、歩いていて、木陰や日陰など、少し休めるところがあちこちにあると、良いと思います。小学生の登下校が、暑くて大変だと思うので、熱中症対策や取組を取り上げてほしい。
- 26 あつぎ郷土博物館の紹介映像でも取り上げられていますが、地域の歴史を深掘りしてほしいです。ちょうど、テレビ番組でも「大山街道」が放映されています。厚木の名前を売り出すためにも、大山街道にまつわる厚木の歴史探訪を紹介してほしいです。
- 27 厚木市内において、いろいろな意味で地域格差ができていていると思います。もっと行政と地域が一体となり、格差を埋めるために取り組まないと災害時にも対応できないのではないかと不安に思っています。他市での良い事例や、厚木市が考えている解決の方向性を紹介してほしいです。

- 28 連日の猛暑には、温暖化の影響が顕著に出ていると思います。市民一人一人ができることとしてゴミの適切な処理があります。紙やプラスチックの資源を、きちんと分別してリサイクルすれば、その分無駄な焼却燃料を使わず、二酸化炭素も出しません。小さなことだとしても、積み重ねたら大きな意味があると思うので、市民全体への啓発を期待します。
- 29 地域に密着した表紙の写真がとても良いと思います。
- 30 田植えをする表紙のこどもたちの笑顔がすてきでした。
- 31 表紙の田植えの写真がとてもすてきで、厚木を誇らしく思いました。
- 32 毎回、1面の写真に感動します。撮影者の一言などがあると、より良いと思います。
- 33 厚木には多くの田んぼがあります。高齢化によって、担い手がいなくなり放置されてしまわないか心配です。
- 34 価格が高くなっている米がどのようにして出来ているのかを実際に体験できるのは、食育の面でもとても良い経験になると思いました。
- 35 表紙のこどもたちの田植えの写真は、とても明るい気持ちになるすてきな写真だと思いました。毎号、表紙の写真を楽しみにしています。
- 36 「田んぼもぼくらの教室」という特徴的なタイトルとこどもたちの写真、そして記事の内容、全てがあつぎの広報紙らしい優しさにあふれています。
- 37 1面のこどもたちの写真がとてもすてきでした。こどもたちの楽しそうな姿や、田んぼでの自然とのふれあいが良く表現されていて、心が温まりました。
- 38 空き家対策の記事は知らないことばかりで参考になりました。
- 39 空き家対策の記事は厚木市民にとって重要な課題だと思います。
- 40 空き家について考えることは防災意識を高めることにもつながると思います。空き家が災害時に周辺の住居に被害をもたらす危険性もあるため、地域住民や行政が見て見ぬふりをしてはいけないと思います。
- 41 市が強制的に空き家の解体工事ができるようになれば、火事や治安の面から安心できると思いました。
- 42 起業スクールの記事で、子育てが一段落してから、企業してる方の取材をしていて、良いと思いました。子育て中に、正社員として働いていないと、その後、会社で正社員として働くのは難しい部分もありますが、自分のやりたいことで、収入を得られるのは、非常に充実した生き方だと思います。50代以降でも輝いている人を見て、励みになりました。
- 43 保護司や協力雇用主になることは、誰もがすることではないと思うので頭が下がります。
- 44 4・5面の記事をととても興味深く読みました。一時的ではなく、根気よくサポートしていくことの難しさもあると思います。企業でのサポート方法や、市民と一緒に生活する上で配慮すべきことなども知りたいです。知らず知らずのうちに傷つけたり、排除してしまっていることも多々あるのではないかと思います。
- 45 厚木愛通信の記事で、モルックジャパンオープンの初日が雨で、次の日の開催を不安に思う市長の言葉から、大会にかける市長の思いを感じ取りました。
- 46 70周年の色々なイベントが楽しみです。
- 47 市制70周年のイベントが続いていて、まだまだ楽しめるとうれしく思いました。本厚木駅にも、様々なお知らせが置いてありますが、立ち寄っている人はほとんどいないように思います。広報紙で宣伝しても良いと思います。
- 48 毎年全国で水の事故が起きていて悲しいので、市からの声掛けをしてほしいです。
- 49 鮎まつりを楽しみにしています。

- 50 鮎まつりの歴史を載せてほしいです。
- 51 鮎まつりの結果報告をしてほしいです。
- 52 鮎まつりの記事を見ると楽しい気持ちになります。
- 53 孫と花火を眺め、花火大会を楽しみたいと思います。
- 54 今年も鮎まつりの大花火大会が開催される予定でうれしいです。
- 55 鮎まつりが秋になっても、秋の大道芸は変わらずに開催されるのでしょうか。
- 56 鮎まつりが開催されますが、天候に恵まれ、市内がにぎわうことを願っています。
- 57 鮎まつりを楽しみにしています。8月3日のDREAMフェスタの詳細も知りたいです。
- 58 夏の鮎まつりが最後になるのは残念ですが、秋の鮎まつりも楽しみにしています。
- 59 鮎まつりの開催まで1か月を切ったので、情報をもう少し載せてほしいと思いました。
- 60 鮎まつりの花火の写真を見て、今年もこの季節がやってきたことをうれしく思いました。
- 61 鮎まつりが今年も開催される喜びをかみしめています。事故無く、無事に終わることを願っています。
- 62 鮎まつりが来年からは、秋開催になるということだったので、涼しい時期の花火も見やすくて良いと思いました。
- 63 鮎まつりの大花火大会の有料観覧席の値段が上がってしまいました。いつかは有料席で花火を見たいと思っていましたが、手が出ない値段になってしまい残念な気持ちです。
- 64 自然歳時記の写真と記事を毎回楽しみにしています。
- 65 キジの写真がありましたが、厚木で見れることに驚きました。
- 66 昔はよく見かけたキジがこの辺にもいるということを知って驚きました。

広報あつぎ1450号(7月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 視聴した「市広報番組」について、感想、意見をお聴かせください。

あつぎ愛テレビ7月第1回(7月1日から7月15日まで)

- 1 各幼稚園の様子や特徴が分かりました。
- 2 幼稚園や保育園で働く人がすてきに思えました。
- 3 市内の幼稚園に勤務していますが、今後も手厚い支援をお願いします。
- 4 幼稚園や保育園で働く方が長く働き続けられる環境づくりに期待しています。
- 5 幼稚園や保育園の先生は大変だと思いますが、すばらしい仕事だと思いました。
- 6 少子化でこどもの数が減っている中、先生たちも減っているようで大変そうです。
- 7 孫二人が幼稚園と保育園にそれぞれ通園しているので、他人事とは思えず真剣に視聴しました。
- 8 5歳以下のこどもたちを守り育てている先生や保育士の負担を軽減する職場環境づくりや助成を継続してほしいです。
- 9 厚木での子育ての様子が良く分かりました。市からの支援も知ることができたので、とても良い企画だったと思います。
- 10 厚木市の幼稚園や保育園で働く毎年の給付があることを知りませんでした。復職しようか迷っていたので、知れて良かったです。
- 11 幼稚園関連のニュースをよく目にするようになったと感じています。幼稚園側の意見を聞くことができたからお互いに理解することができるのではないかと考えました。
- 12 現在子育ての時期が過ぎたので、子育てコンシェルジュとアドバイザーの登録をしていますが、なかなか活動できていません。厚木市が子育てに力を入れていることが、映像で確認できました。
- 13 幼稚園と保育園は、子育ての上で欠かせないので、もっと先生達の待遇を良くしてほしいです。そして、専業主婦でも預かり保育を利用できるようにしてほしいです。
- 14 幼稚園・保育園のことを丁寧に伝えられており、先生方の表情にも優しさがあふれて、保育士を目指している方々へしっかり届いたと思います。こどもたちを預ける保護者にとっても安心できるすてきなレポートでした。
- 15 市外から保育園や幼稚園で働く人を集めるための政策は必要だと思います。厚木市は医療従事者にも同様の政策を実施していて、将来に向けて、とても良い取組だと思います。制度を利用して活躍している方も周りにアピールして、仲間を増やしてほしいと思いました。支援制度についても説明がありましたが、対象の方に見てもらえているのか心配になりました。
- 16 縄文土器に触ってみたいと思いました。
- 17 あつぎ郷土博物館の触れる展示が面白いと思いました。
- 18 あつぎ郷土博物館の触れる展示に行ってみたくまりました。
- 19 番組を見てあつぎ郷土博物館を訪ねてみようと思いました。
- 20 展示物に実際に触れる機会があることはすばらしいと思います。
- 21 博物館の展示品に触れる機会はあまりないので興味を持ちました。
- 22 あつぎ郷土博物館の展示をゆっくりと見たことがないので、見に行きたいと思いました。
- 23 あつぎ郷土博物館の展示で、縄文土器等に実際に手で触れて感じる企画は楽しそうだと思いました。
- 24 あつぎ郷土博物館は、名前は知っていますが行くことがなかったので、今度行ってみようと思いました。

- 25 あつぎ郷土博物館の催しは、とても面白い企画だと思いました。見るだけでなく、触ることもできると、歴史に興味湧きます。
- 26 あつぎ郷土博物館の展示物に触れ、重さを感じることは、どのように家事をこなしてきたのか分かり、とても良い機会だと思います。
- 27 あつぎ郷土博物館の学芸員の方の話方から展示物への愛を感じました。点字での説明もあるとのことなので、より行ってみたくなりました。
- 28 あつぎ郷土博物館の展示について、実際に触って触感や重さを感じられるのはすばらしいと思います。是非これからも続けてほしいと思います。
- 29 あつぎ郷土博物館で展示物に実際に触れることは、歴史に親しむきっかけになるし。画期的なことだと思います。国立民族学博物館の展示を思い出しました。良い企画だと思うので今後も続けてほしいです。
- 30 あつぎ郷土博物館の「めざせユニバーサルミュージアム 触って感じるあつぎ展」から、触れることで「資料と心を通わせる体験」ができる興味深い展示会だと思いました。また、資料の触り方の解説もあったことは、資料への向き合い方を知る良い機会になったのではないかと思います。
- 31 映像での鮎まつりの紹介に、より楽しみになりました。
- 32 今回の鮎まつりの詳細が分かり、とても楽しみになりました。
- 33 一度だけでも河川敷から鮎まつりの花火を見てみたいです。
- 34 鮎まつりが来年からは秋開催になりますが、涼しい時期の花火も良いと思いました。

あつぎ愛テレ6月第2回(6月16日から6月30日まで)

- 1 モビリティスクーターでの防犯活動は、他の地域でも取り入れてほしいと思いました。
- 2 森の里地区のパトロール方法はとてもすばらしいと思うので、他の地域でも行われれば犯罪抑止につながると思います。
- 3 森の里の防犯パトロールについて、最近増加傾向にある盗難事件などを未然に防ぐ活動として効果的だと思いました。先日民法ニュースでも紹介していたので、市内でももっと活動が盛んになることを期待します。
- 4 鮎釣りに興味があったので、動画で詳しく知ることができてうれしいです。
- 5 鮎釣りについて興味があったので、動画で詳しく知ることができて良かったです。
- 6 相模川の鮎釣り人口が減少していると聞いているので、今後の対策を記事にしてほしいです。
- 7 釣りをする夫と鮎釣りのパートを見ていたのですが、撮影されていた場所ではルアーは使えないはずだと言っていました。もしもそれが合っているなら、撮影の都合だと思いますが、字幕などで説明を入れた方が良かったと思います。